

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 0900011

政策目標	1	はつらつ・雄武～地域産業の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	1	農業の振興	事業優先度	A		
単位施策	1	土地基盤の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	荒廃農地等利活用促進事業		見直し年度			
事業期間	平成29年度		担当課	9 産業振興課		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	対象農地面積		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
事業目標	5.98ha		関係例規・法令名			
住民参加	無		関係個別計画名			
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計画 内 容	農業生産の基盤である農地の確保及びその有効利用を図るため、農業者が行う荒廃農地等を再生利用する取組みを推進し、荒廃農地の発生防止と解消に努める。					・農地再生 1.99ha ・土壌改良 3.99ha ・暗渠整備 一式
	事業費(千円)	3,292	0	0	0	3,292
計画 事業 費	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	3,292				3,292
	地方債	0				
	その他	0				
実績 事業 費	事業費(千円)	2,867	0	0	0	2,867
	財源内訳					
	国庫支出金	0				
	道支出金	2,867				2,867
	地方債	0				
関連 事項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	・荒廃農地等利活用促進交付金	【評価・実績】				・農地再生 1.99ha ・土壌改良 3.99ha ・暗渠整備 一式
			※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値				5.98ha
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	全体達成率	0%	0%	0%	0%	
	事業進捗状況					87%

事業名	荒廃農地等利活用促進事業	評価者 管理職 職氏名	産業振興課長	横田 和幸
		評価者 作成者 職氏名	農務係長	小野 隆行

様式1
平成29年度実施
平成30年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	農業者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	整備面積		
【抱える課題やニーズは】	荒廃農地の発生防止、解消		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	荒廃農地を再生利用する取組の推進		① 農地再生	目標年度	平成29年度
				目標値	1.99 ha
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	農用地の有効利用	② 土壌改良	実績値	1.99 ha	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	農地の再生等に対する補助金の交付	農地の再生活動に対し補助金を交付した。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	荒廃農地の解消は、本町の農業振興を図るための重点課題であり、農地の再生活動に対しては積極的な支援が必要である。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	農地の再生活動により、本町の荒廃農地の一部が解消された。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	再生された荒廃農地は担い手の経営地として使用され、農業生産の向上が図られる。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	再生された荒廃農地は担い手に集積され、農業生産の向上が図られるとともに、本町の農業振興につながることから、公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
公平/概ね公平/公平でない	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり本町の荒廃農地の一部が解消され、経営地として担い手に集積された。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
荒廃農地の解消を図るため、農地の再生活動に対し支援を継続する必要がある。		

※展開方向の区分

- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 終了 ○休止 ○廃止